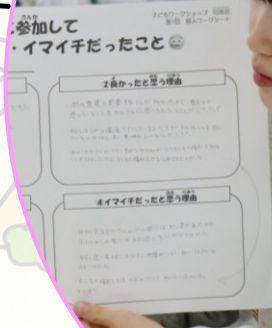


1日目：「子どもワークショップ」の意見で区がどう変わったのかふりかえろう！



杉並区子どもワークショップ (同窓会)

令和8(2026)年1月18日(日)・24日(土)

実施内容紹介

2日目

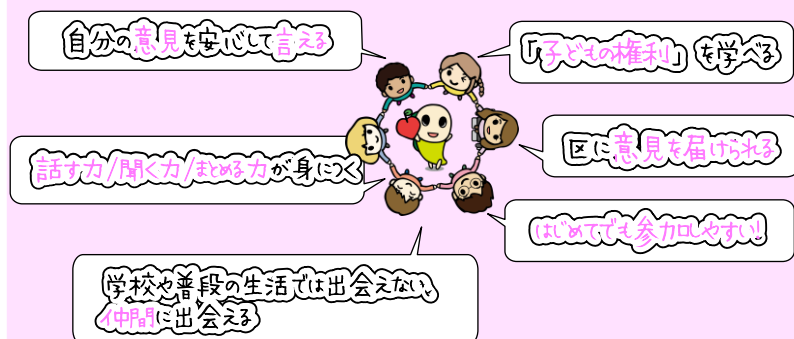
子どもの権利相談/救済窓口の愛称を考えよう！





子どもワークショップは、「杉並区子どもの権利に関する条例」に基づき、子どもたちが自由に思いや考えを話し合い、区に意見を伝えることを目的に開催しています。
この冊子では、子どもたちがワークショップでどのような話し合いを行い、意見をまとめ、区に届けているのかを分かりやすく紹介しています。この取組を知っていただき、より多くの杉並区の子どもの意見を表し、ワークショップなどを通じて区に届けるきっかけとなることを目指しています。

ワークショップに参加すると、良いことがたくさん！



もくじ

同窓会開催概要	2
1日目の様子	3
2日目の様子	4
参加者の声	5



同窓会開催概要

同窓会テーマ

※これまでに開催した
子どもワークショップについては、
コチラをご覧ください



「子どもワークショップ」の意見で、
区がどう変わったのか、
ふりかえろう！

子どもの権利相談・救済窓口
の愛称を考えよう！

「同窓会」では、これまでに開催した子どもワークショップ※の参加者が再び集まり、過去のワークショップで出された意見が、その後の区の取組にどのようなつながっているのかを、区長や教育長と一緒にふりかえりました。また、子どもの権利に関する条例に基づいて設置された「杉並区子どもの権利相談・救済窓口」をより身近に感じてもらえるよう、親しみやすい愛称を考えました。

プログラムの流れ

1 日 目

アイスブレイク

自己紹介を兼ねた
「共通点ビンゴ」



ふりかえり

講義
「子どもの権利について」

動画視聴
「過去のワークショップ
ふりかえり動画」



個人・グループ ワーク

ワークショップに参加して
「良かったこと」
「イマイチだったこと」



マインドマップ 作成

今後のワークショップをもっ
と良くするためのアイデア



区長・教育長 に向けて発表

意見交換



2 日 目

アイスブレイク

仲間を見つけて班になれ！
「仲間探しゲーム」



自分のおでこの言葉は分からないよ

講義

「子どもの権利相談・救済窓口」
について



子どもの権利救済委員
谷川委員

相談窓口 見学・体験

手紙相談
説明

相談室
見学

オンライン
相談
説明



グループワーク

講義、見学、説明をヒントに
班で一つの愛称案を考える



発表

1日目の様子～「子どもワークショップ」の意見で区がどう変わったのかふりかえるう！～

これまでの子どもワークショップで話したことや区に伝えた意見によって、杉並区がどう変わったのかをスペシャルSPゲスト(区長・教育長)とふりかえり、「もっとこうなったらいいな」ということを伝えました。



過去の子どもワークショップをふりかえる参加者

日時：令和8年 1月18日(日)

場所：杉並区役所第3・4委員会室

参加者：14名(小学生10名/中学生4名)

アイスブレイク

自己紹介を兼ねた
「共通点ビンゴ」

ふりかえり

講義
「子どもの権利について」
動画視聴
「過去のワークショップ
ふりかえり動画」

個人・グループ ワーク

ワークショップに参加して
「良かったこと」
「イマイチだったこと」

マインドマップ 作成

今後のワークショップをもっと
良くするためのアイデア

区長・教育長 に向けて発表

意見交換



「子どもの権利」について講義

野村先生(元杉並区子どもの権利擁護に関する審議会会長)の話の聴きながら、これまでのワークショップで学んできた子どもの権利について、みんなでふりかえりました。



ふりかえり動画視聴

これまでの子どもワークショップで、取り組んだ内容や、どんなことを話したかを、動画を見てふりかえりました。



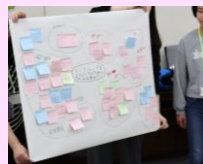
「もっとこうなったらいいな」 を考える

子どもワークショップをふりかえって「良かったこと」「イマイチだったこと」「もっとこうなったらいいな」ということを、みんなで話し合いました。

「マインドマップ」作成

話し合った内容は、「マインドマップ」にして模造紙にまとめました。

マインドマップ...考えを広げながら整理するための図



区長・教育長に向けて発表、 意見交換会

作成した「マインドマップ」を使って、今後の子どもワークショップが、「もっとこうなったらいいな」を区長/教育長に発表し、意見交換をしました。



2日目の様子～子どもの権利相談・救済窓口の愛称を考えよう！～

令和7（2025）年9月に開設した「杉並区子どもの権利相談・救済窓口」の愛称を考えました。



実際に窓口を見学する参加者

日時：令和8年1月24日(土)

場所：杉並区役所第3・4委員会室

参加者：16名

(小学生6名/中学生9名/その他1名)

「杉並区子どもの権利相談・救済窓口」
について、くわしくはコチラ



アイスブレイク

仲間を見つけて班になれ！
「仲間探しゲーム」

講義

「子どもの権利相談・救済窓口」
について



「子どもの権利相談・救済窓口」 について講義

谷川委員(杉並区子どもの権利救済委員)から、「子どもの権利相談・救済窓口」とはなにかの説明を聴きました。

手紙相談
説明

相談窓口
見学・体験

相談室
見学

オンライン
相談
説明



谷川委員から
手紙相談の方法の説明



窓口に見学に行き、
「電話相談」の体験



チャット、Webフォームを
利用した相談方法の説明

子どもの権利相談・救済窓口 見学

窓口の愛称を考えるにあたり、相談窓口を見学しました。
参加者は実際に窓口を訪れ、相談方法について説明を受け、電話相談を体験しました。

グループワーク

講義、見学、説明をヒントに
班で一つの愛称案を考える

発表

愛称案を考えて、発表

見学等で学んだ、相談窓口の「キーワード」をもとに、相談窓口が子どもにとって身近な存在になれるような愛称の案を各グループで考え発表しました。発表後には、投票で「子どもワークショップが考える愛称」を決めました。



参加者の声

子どもワークショップをふりかえって 参加者が「良かった」と感じたこと

同窓会1日目に、参加者が子どもワークショップに参加してみて「良かったこと」・「イマイチだったこと」と「その理由」を発表しました！その中から、特に多かった意見をテーマにまとめて紹介します。



① 自分の意見を伝えられた！

区長や教育長への発表や意見交換を通して、自分の考えを伝えたり、聞いてもらえたりしたことが、参加者から最も多く挙げられました。

- 区長や教育長に向けて発表ができた
- 区長さんに直接意見を伝えることができた
- 自分の考えをいろいろな人に聞いてもらえた
- 人前で話せるようになった

【理由】

- ・意見を言ってもいいんだと思うようになったから
- ・自分の言いたいことをみんなが聞いてくれたから
- ・区長や教育長が真剣に聞いてくれていることが分かったから
- ・普段話す機会の少ない大人に意見を伝えられたから

② 学校や学年を超えて交流できた

学校や学年の違う参加者と意見交換することで、自分とは違う考え方や経験を知ることができました。また、話し合いを重ねる中で仲良くなり、安心して意見を言う関係をつくることができました。

- 他の小学校のことを知ることができた
- いろいろな年代の人の意見が聞けた
- 同じ意見も違う意見もあって話していて楽しかった
- 他の人の考えを知ることができた

【理由】

- ・違う学校や学年の人と意見交換できる機会が少ないから
- ・同じ意見や違う意見に触れ、新しい考えを知ることができたから
- ・自分とは違う環境で生活する人の考えを知ることができたから
- ・話し合いを重ねることで、仲良くなれたから

③ 自分たちの意見が実際に反映されていた

過去のワークショップで出した意見が、実際の区の取組につながっていたことや、その後の変化を知ることができたことが、参加者の満足につながっていました。

- 自分たちの意見が区の取組に反映されていた
- ワークショップで出た意見が実現されていた
- 権利なみすけなど、考えたものが形になっていた
- どんなことが実現したのか知ることができた

【理由】

- ・班のみんなで、どのようにすれば実現できるか考えられたから
- ・自分たちの意見が実際に実現したから
- ・区立体育館の無料化などの意見が取組につながっていたから
- ・実現された内容や、その後の変化について知ることができたから

④ 楽しみながら学ぶことができた

ワークショップでは、話し合いだけでなく、ゲームやクイズ、絵やワークシートを使った活動などを行いました。楽しみながら意見を出し合える工夫が、参加者から好評でした。

- アイスブレイクやクイズが楽しかった
- 絵やパワーポイントで意見を伝えられた
- 理想の学校やまちづくりのワークができた
- 子どもの権利について知ることができた
- ワークシートやプリントが分かりやすかった

【理由】

- ・子どもが考えたクイズなど、楽しみながら参加できる工夫があったから
- ・絵を描いたり付せんを書いたりしながら楽しく活動できたから
- ・ワークシートやスライドを使って自分の意見を書き表しやすかったから
- ・毎回スライドで復習ができて分かりやすかったから
- ・発表をじっくり見たり、さまざまな活動を経験したりすることができたから

⑤ 安心して参加できる雰囲気だった

ワークショップでは、スタッフや参加者同士が気軽に話せる雰囲気づくりを大切にしています。参加者からは、「安心して意見を言えた」「話しやすかった」といった声が多く寄せられました。

- 先生※やお兄さん、お姉さんと気軽に話せた
- やわらかく明るい雰囲気だった
- 運営の人がおもしろかった
- お菓子やジュースがあった
- 親がいないので意見を言いやすかった
- 飾りがあって落ち着いた

※先生：講師やファシリテーター

【理由】

- ・話しやすい雰囲気だったから
- ・意見を安心して話すことができたから
- ・回を重ねるうちに緊張が少なくなり、親しみやすくなったから
- ・リラックスして参加することができたから
- ・安心して自分の意見を伝えることができたから

⑥ 子どもの権利について学ぶことができた

子どもの権利や相談・救済窓口について学ぶことで、自分たちの権利を守るための仕組みや、困ったときに相談できる場所について知ることができました。

- 子どもの権利について知ることができた
- 子どもの権利について改めて学ぶことができた
- 子どもの権利相談・救済窓口について知ることができた
- 子どもの権利が身近なものだと感じられた

【理由】

- ・私はこのワークショップに参加していなければ、この子どもの権利を知ることがなかったため、子どもの権利を知ることができてよかった
- ・学校よりも早く同じ情報※がとく

※条例や相談窓口リーフレット等の普及啓発物など

子どもワークショップをふりかえって 参加者が「イマイチだった」と感じたこと



①開催日程に参加しやすくしてほしい

- 曜日を固定してほしい
- 参加時間が平日だった
- シーズン5が平日開催だった
- 学校や習い事と重なって参加できなかった
- 平日の午後にやらない方がいい曜日を定めてほしい

【理由】

- ・平日は学校や部活、習い事があって参加しづらいから
- ・曜日が固定されていないと予定を立てにくいから
- ・土日開催の方が参加しやすいから

②もっとたくさん参加したかった

- もう少し回数を増やしてほしい
- 時間が短かった
- 発表までの時間が短かった
- 発表準備の時間が短かった

【理由】

- ・楽しくて時間があっという間だったから
- ・もっと話し合いたかったから
- ・準備時間がもう少し欲しかったから

③他の班の発表や意見も知りたかった※

※ワークショップの進行上、発表を聴けない班が生じた

- 発表を全チーム見たい
- 他の班の意見が分からなかった

【理由】

- ・他の人の意見も知りたかったから
- ・同時進行だと他の班の内容を聞けなかったから

④ワークショップの運営方法を もっと工夫してほしい

- 共通点ビンゴを毎回やってほしい
- カードゲームやボードゲームもやりたい
- 絵以外の方法でも表現したい
- 年齢別の班分けについて考えてほしい

【理由】

- ・もっと多くの人と交流したいから
- ・絵が得意ではない人もいるから
- ・違う学年とも交流したいから

⑤会場や運営面を改善してほしい

- 会場が暑かった
- 発表スペースが狭かった
- プリントをまとめるファイルがほしかった
- お菓子やおやつが少なかった
- お菓子の種類を増やしてほしい

【理由】

- ・会場環境をもっと快適にしてほしいから
- ・配布物を整理しやすくしてほしいから
- ・参加しやすい環境にほしいから

⑥子どもの権利をもっと広めてほしい

ワークショップに参加したことで子どもの権利について知ることができた一方で、参加していない子どもたちにももっと知ってほしいという意見がありました。

- ワorkshopに参加しないと子どもの権利を知らない
- 自分たちの生活への変化を感じにくかった
- 「子どもの権利」という言葉が少し難しい

【理由】

- ・もっと多くの子どもの権利に知ってほしいから
- ・身近な言葉で伝えてほしいから
- ・ワークショップ以外でも学べる機会がほしいから

相談窓口の愛称案を考えるまでの、 参加者の意見まとめ

「相談窓口の説明を聞く『前』と『後』のイメージ」や
「愛称案を考えるために考えた『キーワード』」をまとめました。



①相談窓口の説明を聞く『前』のイメージ



堅苦しそう

緊張する

こわそう

入りにくそう

大きな建物のなか
にありそう

法律や条例など
むずかしそう

あんまり近くに
ないイメージ

何をする場所か
よく分からない

相談窓口に対して
「かたい」「こわい」
「入りにくそう」
といったイメージをもつ参加者
が多く、
「どんな場所なのか分からない」
という声もありました。



②説明を聞いた『後』のイメージ

意外といろんな人
が相談している

嬉しいことも相談していい
と知って、びっくりした！

困ったときだけでなく、何
か伝えたいこともある時も
話せることが分かった

電話や手紙、LINE、
タブレットからも相談
できると知った

区役所の東棟3階に
窓口があるのは知ら
なかった

誰でも気軽に相談できる
場所だとわかった

誰でも気軽に相談できる
場所だとわかった

その場で話を聴いてくれ
るなんて知らなかった



③愛称を考えるときに大切だと思ったこと

キーワード

安心

気軽に

やさしい

子ども

ワクワク

なんでもOK

いつでも

秘密を守る

なみすけ

まん中（子ども中心）

だれでもOK

どんな方法でもOK

つながる・よりそってくれる

相談室

楽しい

理由（抜粋）

- ・親や先生に知られないか不安だから「安心」が大事
- ・「子ども」という言葉が入っていると相談しやすい
- ・こわいイメージではなく明るい名前がいい
- ・杉並らしさを出すなら「なみすけ」を使いたい
- ・気軽に相談できることが伝わる名前がいい

ワークショップ参加者が考えた愛称案 3つ

なやみなみ～

わくなみ

安心安全みんな花並

愛称の
意味

「悩みに？」× ナミー

「わくわく」× なみなみ
※なみなみは、相談室の電話番号の一部の「7373」、
「な」んでも、「み」んな 等いろいろな意味がある

花＝キレイなもの
並＝杉並の一人ひとりみんな



SUGINAMI
CITY

杉並区子どもワークショップ(同窓会)

**「子どもワークショップ」の意見で区がどう変わったのか振り返ろう！
子どもの権利を守るための相談窓口に、親しみやすい呼び名を考えてみよう！**

実施内容紹介

令和8年8月

杉並区子ども家庭部子ども政策担当課

東京都杉並区阿佐谷南1-15-1 TEL 03-3312-2111